

## 「出題の意図」

選抜区分	2022（令和4）年度（選抜区分：一般選抜後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>&lt;面接の意図・ねらい&gt; 個別面接・口頭試問を行った。</p> <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己PRおよびその内容</li><li>・建築とAI技術</li><li>・雨の多い地域と少ない地域の建築の違い</li><li>・行ってみたい国内の都市</li></ul> <p>について質問し、回答を求めた。 これらの質問を通じて受験生の思考力および意欲などを確認した。</p> <p>個別面接・口頭試問</p> <p>自己PRに関する出題では、どの学生も事前に回答した面接シートの内容を背景としつつも、自らの考えを整理し明快な回答をした学生と、自身を自然体でアピールすることができなかつた学生に分かれた。</p> <p>建築とAI技術に関する質問では、一定の知識を持ち合わせ、スマート空調制御などに関する回答をした学生がいた。知識のない学生は、その場でアイデアを提案できる発想力を有するかどうかで回答に差が出た。</p> <p>雨の多い地域と少ない地域の建築の違いに関する質問では、大きく分けて湿気の有無等による室内の快適性や建物の耐久性に関する視点と洪水対策による違いを述べた防災に関する視点に大別され、学生間で回答の説得力に差が出たが、学生自身が有している知識と経験を参照した論理性あるしっかりした回答もみられた。</p> <p>行ってみたい国内の都市についての質問では、東京あるいは京都と答える学生が多かったが、理由を問う過程では学生間で大きく差が出た。その都市にある、知っている建物を答えるだけで会話が途絶えてしまうケースもあったが、都市全体のスケールで考えて自身が興味を抱いていることがよく伝わるように理由を述べる学生や、建築に対して深い興味と好奇心を抱いていることがよく伝わる回答もあった。</p>